



2019年度「システムチェンジコストダウン計画(ダイヤ改正)」に対する申し入れ団交報告

更なる労働環境改善に向けて職場から運動を作り出そう!

2月27日新潟地本は申13号の団体交渉を行いました。次期ダイヤ改正では新たに短時間行路が設定される一方で、実施から1年経過して見えてきた諸課題や、乗務員の要員問題や労働時間の考え方、車両や鉄道設備の改善要求など計44項目について議論を交わしました。

■ 申13号 交渉要旨 ■

【短時間行路関係】(全5項)

1. 新津運輸区の車掌の短時間行路が急遽設定された理由を明らかにすること。
(会) 支社の判断。今後は現場のニーズを大切にしていく。
(組) 箱ダイヤから列車を抜き要員増が許されるのなら、いつでもできる。ダイヤ改PTをないがしろにしている。
2. 酒田運輸区の車掌、運転士行路に短時間行路を設定しない理由を明らかにすること。
(組) 新津運輸区と同様に設定できないか。
(会) 総合的に勘案した。否定感はある。

【列車ダイヤ・乗務員運用関係】(全21項)

2. 次期ダイヤ改正年度における運転士・車掌の要員需給の見通しを各運輸区別に明らかにするとともに、標準数を下回る運用は行わないこと。
(組) 今年のように要員に係わる事象が全区所で発生しない見通しか。
(会) 行路移管、予備0のような事態はあってはならない。
6. 運転士折り返し乗継の付加4分を削除した根拠を明らかにするとともに、これまで付加していた4分の根拠を明らかにすること。
(会) 標準集に則った取扱い。折り返し時間に着運転台整備の時間が含まれる。

【ワンマン関係】(全5項)

1. 白山駅中線にワンマン列車を運用しないこと。
(組) 前交渉時と回答が違う。サビ取りであれば1本で良いのでは。
(会) 趣旨は同じ。赤羽対策の意味合いもあり6本近く入線する必要がある。

【設備関係】(全12項)

1. 磐越西線の各駅にお客さまの乗降を考慮した箇所に4両停目を設置すること。
7. 上越線、信越線、羽越線の停目を2・4・6に統一すること。
(会) 課題は一緒に黒井駅等に新設した。今年度は信越線を中心に新設、移設する。
(組) 認識は一致している。現場の声を反映させるように要請する。
5. E129系B編成にミュージケットを搭載すること。
(会) 滑走検知ソフトを改修したことにより滑りにくくなっている認識である。

【その他】

1. 新潟支社内における交通遠隔地である酒田地区の特状に踏まえた採用及び人事運用を行うこと。
(会) 離職者が多い事実は認識している。
(組) 辞める理由は様々だが地元の人には辞めていない。自宅から通える範囲で働けるのは幸せである。